

後期高齢者医療制度 今後の説明の展開は 田村正秋 議員

質問 本制度実施後1,503件もの苦情が寄せられるなど、国で決まり地方におりてきて施行までスケジュールに厳しいものがあり、チラシも配布されたとは言え、市側の説明は少ない。もっときめ細かいPR、直接市側が出向いて説明などをすべきではないか、今後の展開はどうか。
市長 市広報に3回掲載するなどしてきたが、紙面だけの理解は非常に困難なので、直接出向いて説明している。今後広報体制の強化、高

齢者の集まる場へ積極的に出向くなど、これまで以上に制度の周知を図り御理解、御協力をお願いしていく。



後期高齢者医療制度のパンフレット

ごみ収集車による見守り放送を 末次和夫 議員

質問 身体的弱者である小・中学生がいつどこで悲惨な事件に巻き込まれても不思議ではない時代となっている。地域住民への注意を喚起するため、ごみ収集車の収集時の放送で小・中学生がみずから録音した声で自分たちの見守り放送を流せないかとの提案をしていたが、その後の進捗状況を伺いたい。
市長 児童・生徒の安全を守るため、地域での見守り活動が大変重要になっている。現在行っているごみ分別、

ごみ減量などの呼びかけに加えて、6月末をめどに見守り放送を開始したいと考えている。



市内を走るゴミ収集車

水害への備え 救命ボートの活用は 申田金八 議員

質問 大雨の時、土留めや傾斜地のはけ部の水抜口から吹き出すぐらいの水が出ているか、1度調べていただきたい。また、道路が冠水した場合、30センチの水でもマンホールの穴に落ちる危険があり、また衛生面でも、市民の救出には救命ボートが必要と思うが、考え方を伺いたい。
市長 地球温暖化、小河内ダムの決壊等今後予想される問題を分析し、ボートの運用方法など消防署等の意見を聞き検討していきたい。

都市建設部長 水抜き確保等の調査はしていないが、巡回時に点検し、マンホールの蓋は鍵付に改善している。



南公園の水害状況(昨年の台風9号による)

自然環境を観光資源として活用する考えは 杉山行男 議員

質問 市内にある多摩川、玉川上水、熊川分水、緑豊かな公園、歴史的建造物などの景観や自然は観光資源として経済的に寄与できると考えているか、またどのような施策が考えられるか伺いたい。
市長 観光資源になりうる素材は、積極的に活用していきたい。観光資源を結ぶウォーキングルートへの休憩店情報の盛り込み、観光資源を題材にした魅力ある商品の作成など様々な方法があるが、多くの人々に興味

を持ってもらえるような手法で広め、話題性を持たせることが必要であるとされている。



みずくらいど公園に咲く金蘭

SPコード本格実施 今後どのように 大野悦子 議員

質問 視覚障害者への情報提供手段の一つとしてSPコード採用の要望をしていたが、昨年より福祉情報のページ等、今年度は広報の奇数ページに本格的取り組みとなり、関係者に大変喜ばれているが、今後さらにどう発展させていくのか伺いたい。
市長 広報の毎月1日号の1、3、5、7面の記事をそれぞれ抜粋したコード化を継続的に行い、さらにふやしていきたい。福祉関係だけでなく一般記事も取り入れ、市民の意見

も聞き、多くの人に読んでいただけるよう努め、さらに市発行の刊行物のコード化にも取り組んでいきたい。



SPコード案内

就学前後の外国人児童への日本語教育の現状は 青海俊伯 議員

質問 日本語教育の対象人員や学校の分布、言語の種類、教育スタッフ、予算の現状等を伺いたい。
教育長 4月末現在で小学校48人、中学校8人で、小学校3校と中学校1校に在籍し、言語は英語、スペイン語、中国語、フィリピン語、ポルトガル語、タイ語などで、スタッフは日本語通級学級専任教員3人、日本語適応指導講師3人と通訳を配置している。
教育委員会参事 予算は通常学級

とは分けて配当し、備品、消耗品費など必要な予算として執行できるよう努めていきたい。



第一小学校の日本語通級学級

増加するワンルームマンション その現状と課題は 羽場 茂 議員

質問 市内に新しいワンルームマンションが大変目立つ。都内一部自治体ではその建設に特別な課税で規制するところもあるのは、それだけ社会的課題の発生を懸念していると思うが、当市の実態と課題はどうか。
市長 市の住宅マスタープランでは、ファミリー世帯が住みたがる魅力あるまちにすることを最大目標としている。単身世帯の増加は子どもの減少やコミュニティーを希薄化させるため改善すべき課題と位置づけ、集

合住宅の計画戸数が20戸以上の場合、ワンルーム住宅は全体戸数の3分の1以下、25㎡以上としている。



ワンルームマンション(イラスト)

基礎学力向上策 サマーチャレンジ取り組みの考えは 阿南育子 議員

質問 学校の通常の授業で基礎学力が身につかないとすれば、それはプロである先生方のさらなる工夫が必要だと思うが、どのような施策を考え、実践されているか伺いたい。
教育長 中学校では宿泊学習教室「スプリングスクール」を実施し、生徒の学習意欲の向上が見られたと評価している。小学校では以前から実施していた基礎的・基本的学習内容の指導をより重点化し、夏季休業日前に授業日数を延長して国語、算

数の基礎学力と体力向上をねらった学習教室「サマーチャレンジ」を全校で実施していく予定である。



各小学校で始まるサマーチャレンジ(第四小学校全景)